

遠  
2378  
67

囃子の囃子

自序

狂人又狂人走りて走るものには狂人のあはれものも  
その態狂人み等々童子は春に書紙綴るとの  
貌既尔老といふもそのるは童子に似たり視るの  
愚るるとして女是と笑ふその智は及ぶべく其愚は  
余童子は春に書紙綴るとも亦嘗  
童子乃意と情と多六以うとせしは時實難故

文化 壬申年二月中旬稿  
十年甲戌正月撰記 曲亭馬琴



血屋鋪  
浮名染  
著上編



曲亭馬琴作  
鳥居清峯画

仙鶴堂版

文化十一  
甲戌春  
蕨兒



猿をゆき人としてふたねの風は何  
桃青

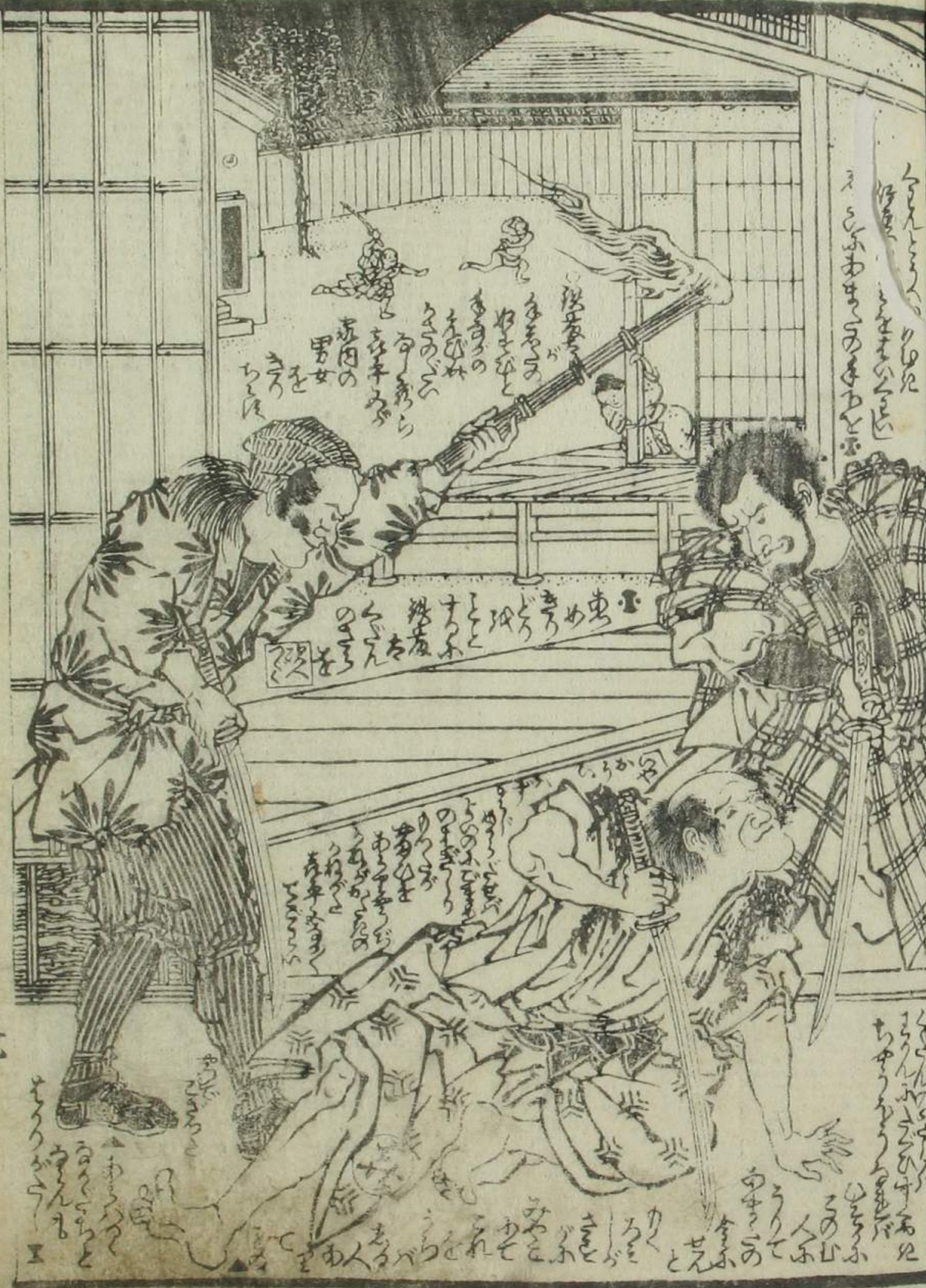














雨の降るも... 田舎草子... 雨の降るも... 田舎草子... 雨の降るも... 田舎草子...

あつちの... 田舎草子... あつちの... 田舎草子... あつちの... 田舎草子...



あつちの... 田舎草子... あつちの... 田舎草子... あつちの... 田舎草子...

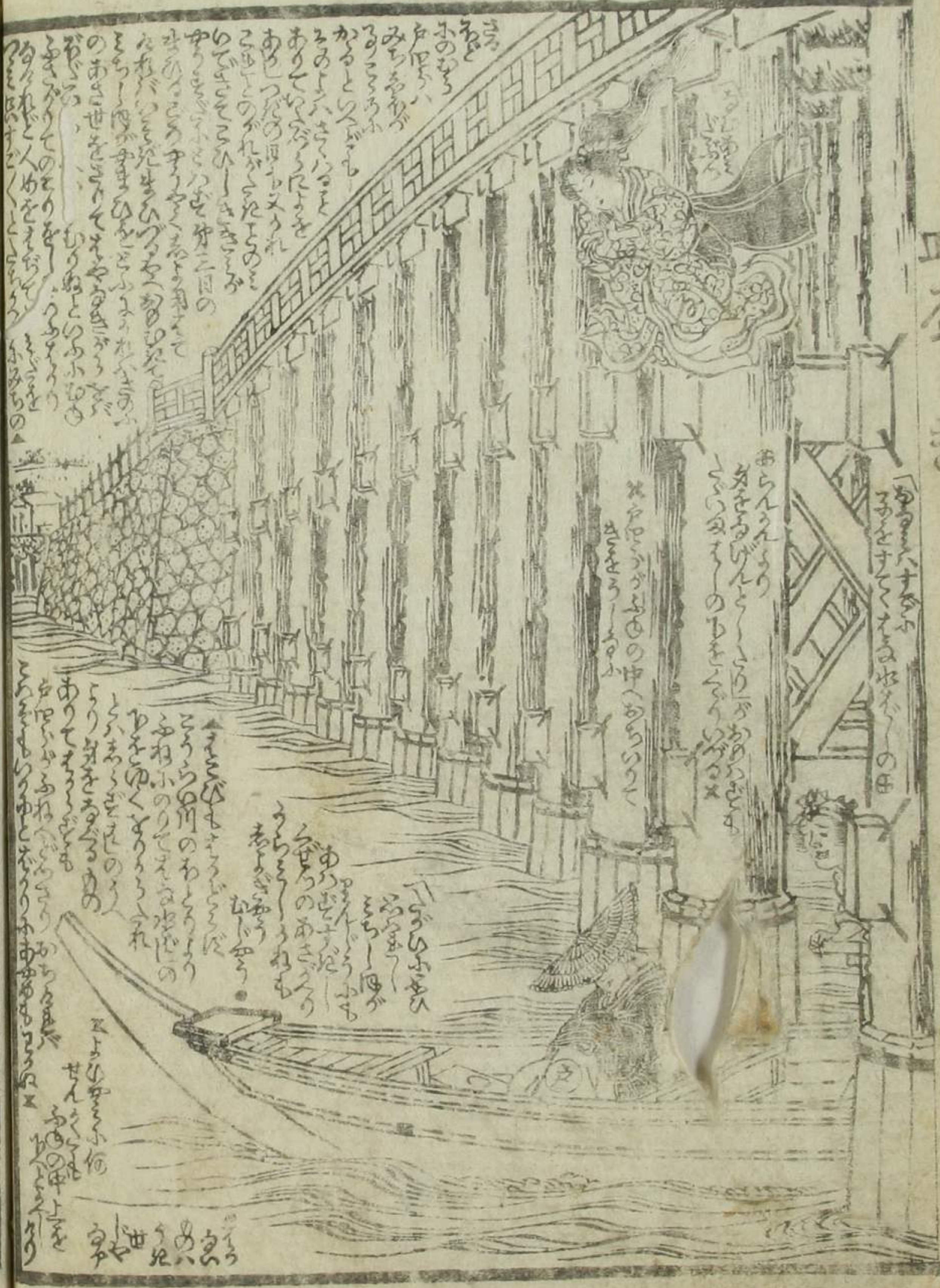






屋敷

九



△  
○  
の  
の  
の  
の

あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの



あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの

あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの



あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの

あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの



あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの

あつきの  
あつきの  
あつきの  
あつきの

十三年  
 三月  
 廿二日  
 卯  
 辰





あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...



あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...

あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...

あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...



あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...  
あつてのうらやま...





Yomi and other vertical text columns surrounding the illustration on the left page.

清峯画馬琴作



Multiple columns of vertical text surrounding the illustration on the right page, including dialogue and commentary.





かえのやのりて  
そのやん  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり



あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり



あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり



あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり  
あつちの  
まじり



羽の重なる様子を  
 刻むに細心を用ひて  
 凡そ羽の根元は  
 丸く切られ居るを  
 見れば此の如き  
 ことなるべし  
 又此の如き羽の  
 形は古来の神像  
 にも見ゆるに  
 其の意は如何なる  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに  
 然れども其の  
 形が如何なるに  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに

羽の重なる様子を  
 刻むに細心を用ひて  
 凡そ羽の根元は  
 丸く切られ居るを  
 見れば此の如き  
 ことなるべし  
 又此の如き羽の  
 形は古来の神像  
 にも見ゆるに  
 其の意は如何なる  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに  
 然れども其の  
 形が如何なるに  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに



甲冑の重なる様子を  
 刻むに細心を用ひて  
 凡そ甲の根元は  
 丸く切られ居るを  
 見れば此の如き  
 ことなるべし  
 又此の如き甲の  
 形は古来の神像  
 にも見ゆるに  
 其の意は如何なる  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに  
 然れども其の  
 形が如何なるに  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに

甲冑の重なる様子を  
 刻むに細心を用ひて  
 凡そ甲の根元は  
 丸く切られ居るを  
 見れば此の如き  
 ことなるべし  
 又此の如き甲の  
 形は古来の神像  
 にも見ゆるに  
 其の意は如何なる  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに  
 然れども其の  
 形が如何なるに  
 なるやと云ふは  
 不可知なるに

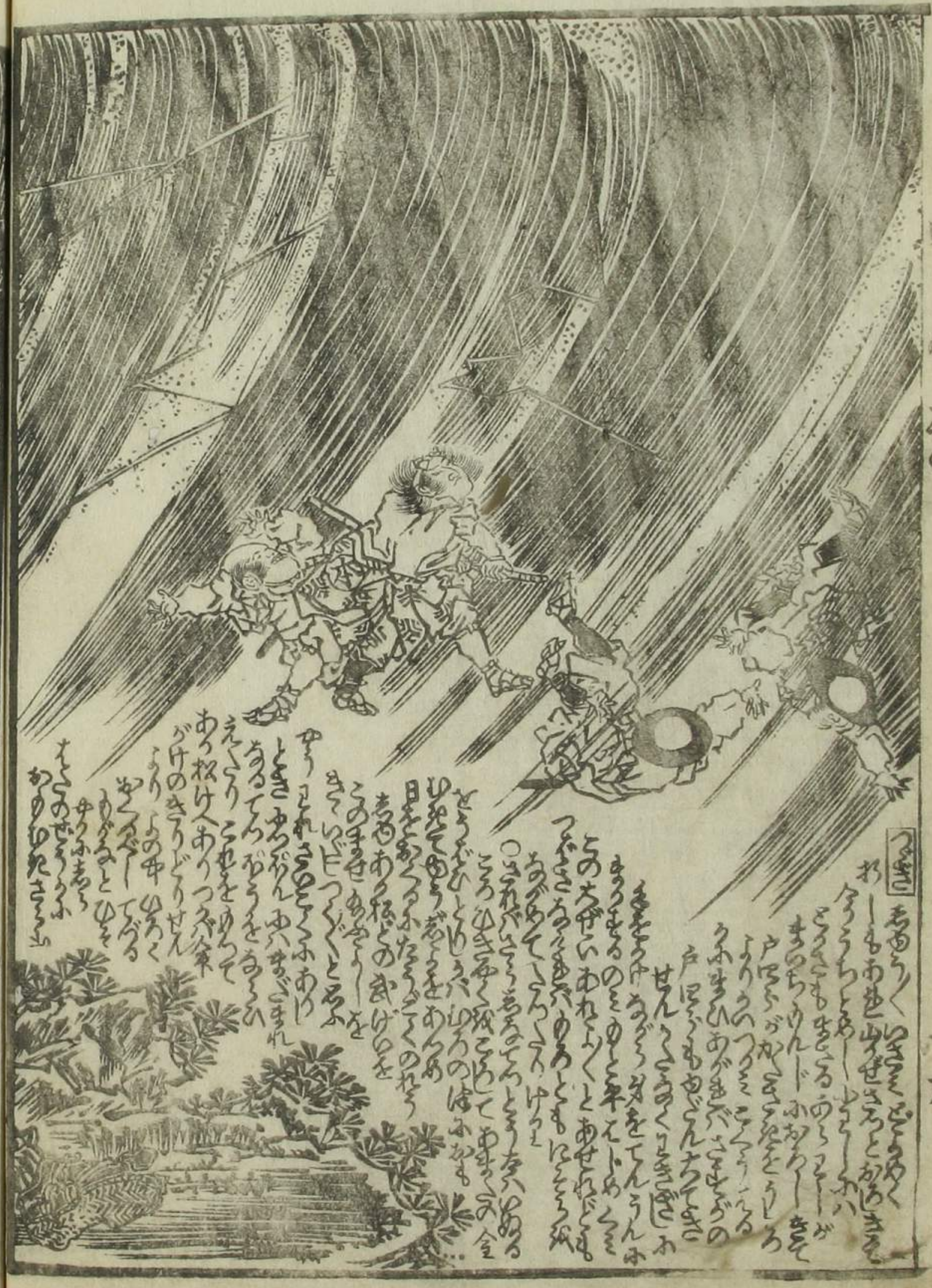


あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり

あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり

あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり

あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり



あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり

あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり  
あまの  
つゆり







ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ  
 ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ

あいさ  
 ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ



あいさ  
 ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ

あいさ  
 ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ

あいさ  
 ひねりしあめ  
 のしんぼのゆめを  
 ちりばちて  
 あいさ







Handwritten text in the upper left section of the page, including a vertical title on the far left.



Vertical text on the left margin of the page.

Vertical text on the left margin of the page.



Large block of handwritten text in the lower right section of the page.

Vertical text on the right margin of the page.

Vertical text on the right margin of the page.



Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located in the upper right corner of the illustration. The text is arranged in several vertical columns.



Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located in the upper right corner of the illustration. The text is arranged in several vertical columns.

Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located in the lower right corner of the illustration. The text is arranged in several vertical columns.









四屋敷  
浮名染  
着  
下編

馬琴作  
清峯画

仙鶴堂 梓

文化十一  
甲戌春 撰記

ついでに... 江戸元飯田町四方みき店向たきささわ製



曲亭馬琴作  
鳥居清峯画

通  
板  
鶴喜



